

観光地魅力度調査報告書

令和2年8～9月

～丹波篠山市版～



公益社団法人ひょうご観光本部
Hyogo Tourism Bureau



調査目的	観光地にて旅行者の動機や周遊ルート、観光費用等の顧客データを収集、地域ごとの訪問客の属性等の傾向を分析し、地域における観光商品やサービスに対する評価を踏まえ、今後の対策に活かすことを目的とする。
調査地域	丹波篠山市
調査対象者	調査地域を訪れた観光客、宿泊客
サンプル数	155
調査手法	QRコードを媒介としたインターネット調査
調査期間	2020年8月～2020年9月

《居住地》

- ・観光客・宿泊客の約7割が県内と大阪府からの訪問者で、マイクロツーリズムが拡大している。

《年齢・同行者》

- ・50代・60代および夫婦旅行の割合が県全域よりも高く、主要な客層となっている。

《旅行目的》

- ・名所旧跡、自然景観、グルメの割合が県全域よりも高く、多彩な観光資源が強みとなっている。

《リピート率・消費額》

- ・1万円未満の割合が約7割を占めているが、宿泊が少ないためと考えられる。
- ・年代では40代・50代が、リピート率では3回目以上がボリュームゾーンとなっている。

《周遊》

- ・体験・アクティビティへの期待度と満足度が低く、体験型コンテンツの開発が重要である。
- ・Wi-Fiなどインターネット環境への期待度と満足度は県全域よりも約20～30ポイント低く、特にWi-Fi環境の充実が必要である。

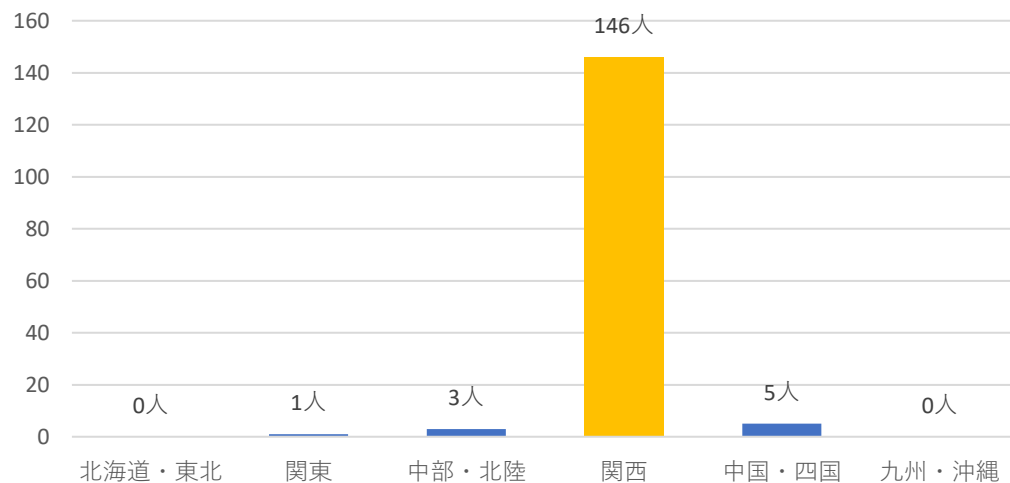
回答者属性

居住地



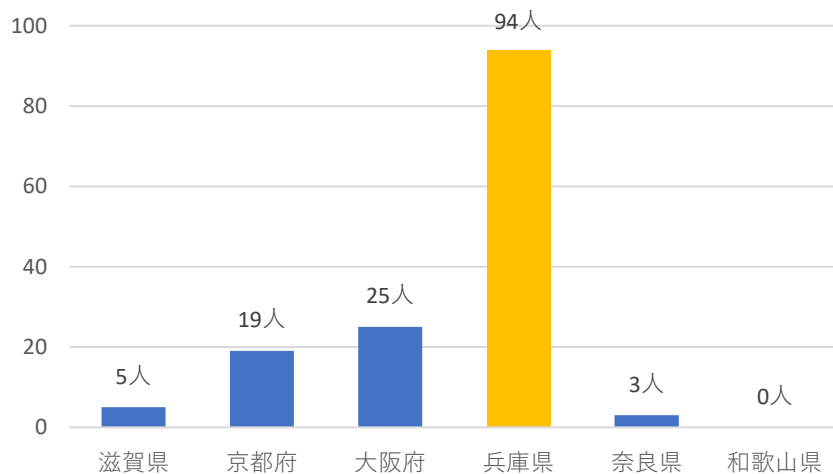
居住地

N=155



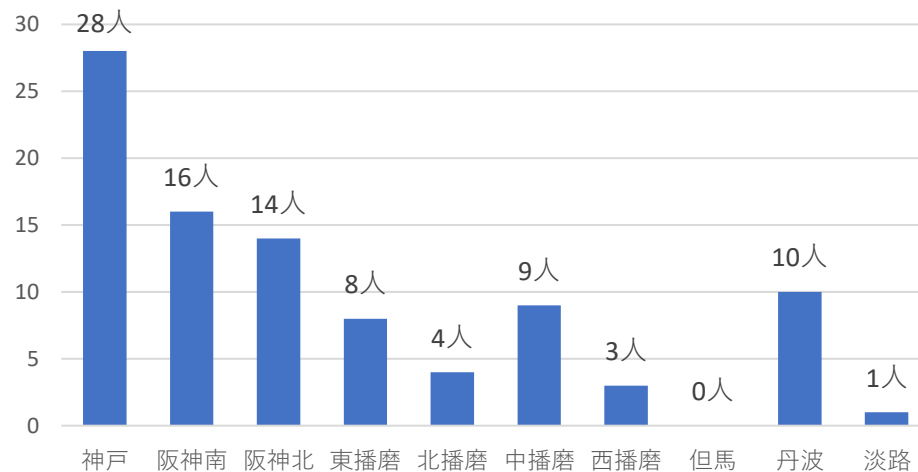
居住地（うち関西）

N=146



居住地（関西のうち兵庫県内）

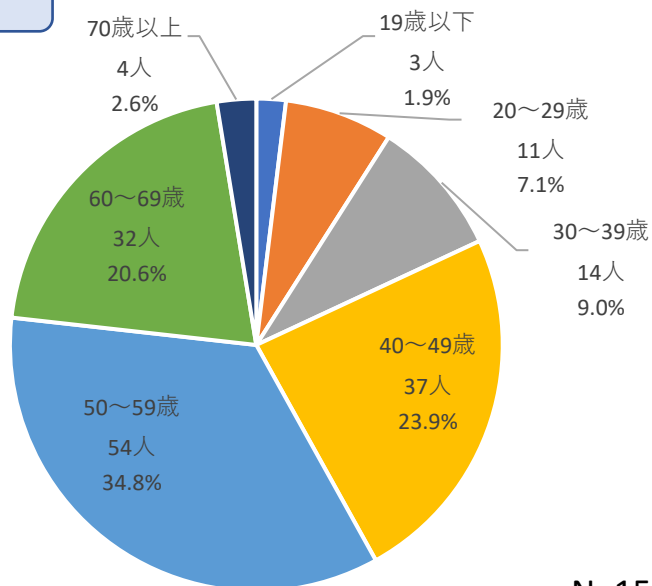
N=94 ※不明：1



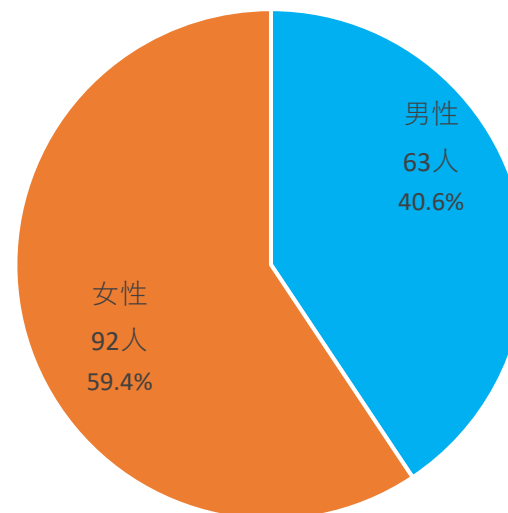
年齢・性別



年齢



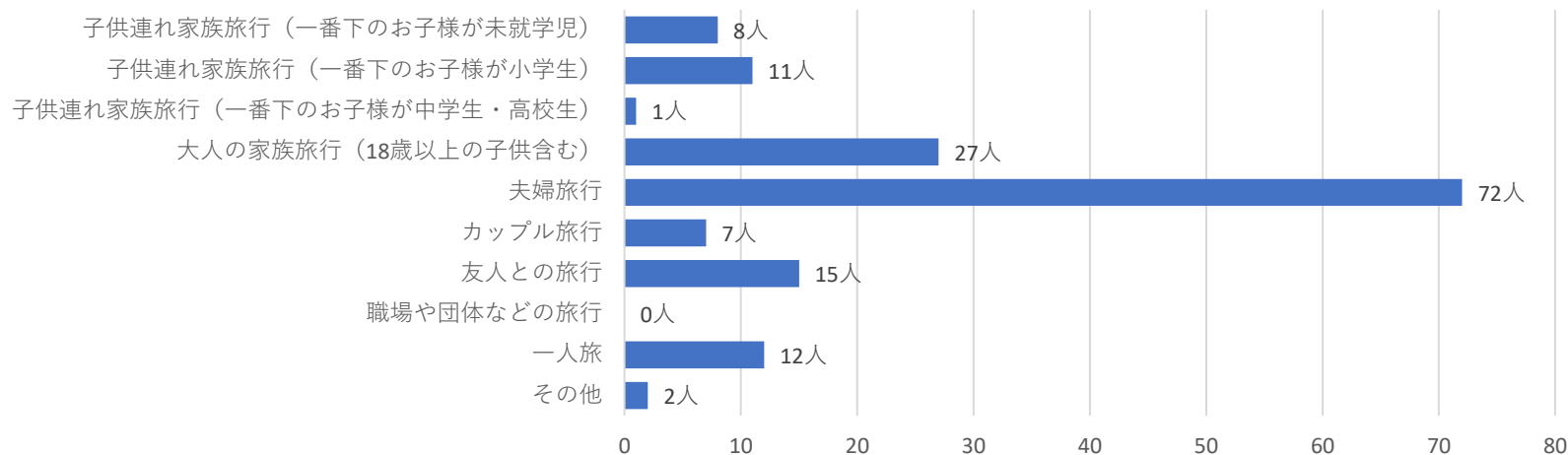
性別



N=155

N=155

同行者



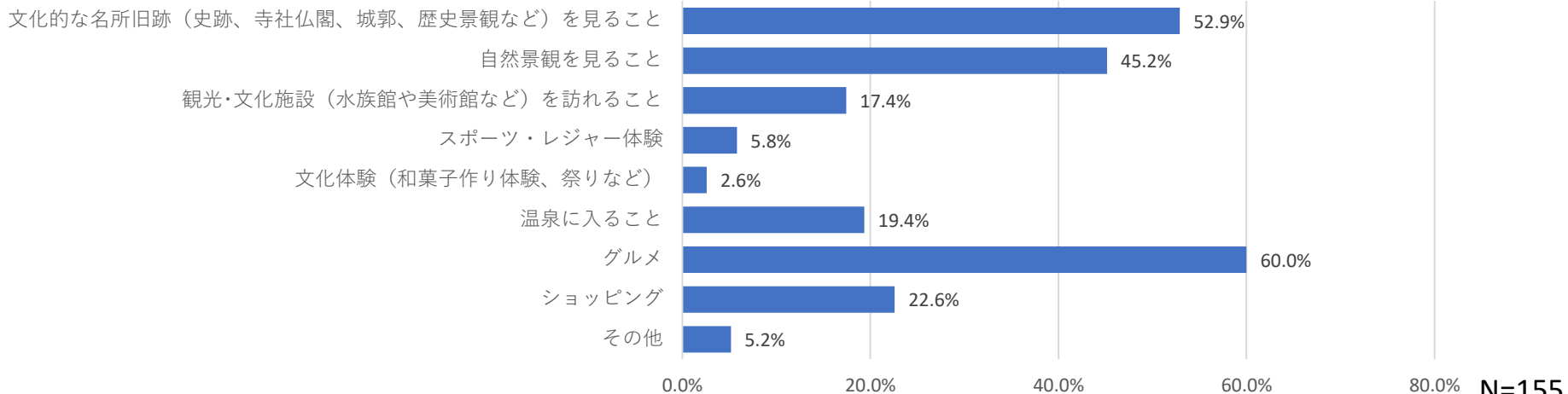
N=155

調查結果

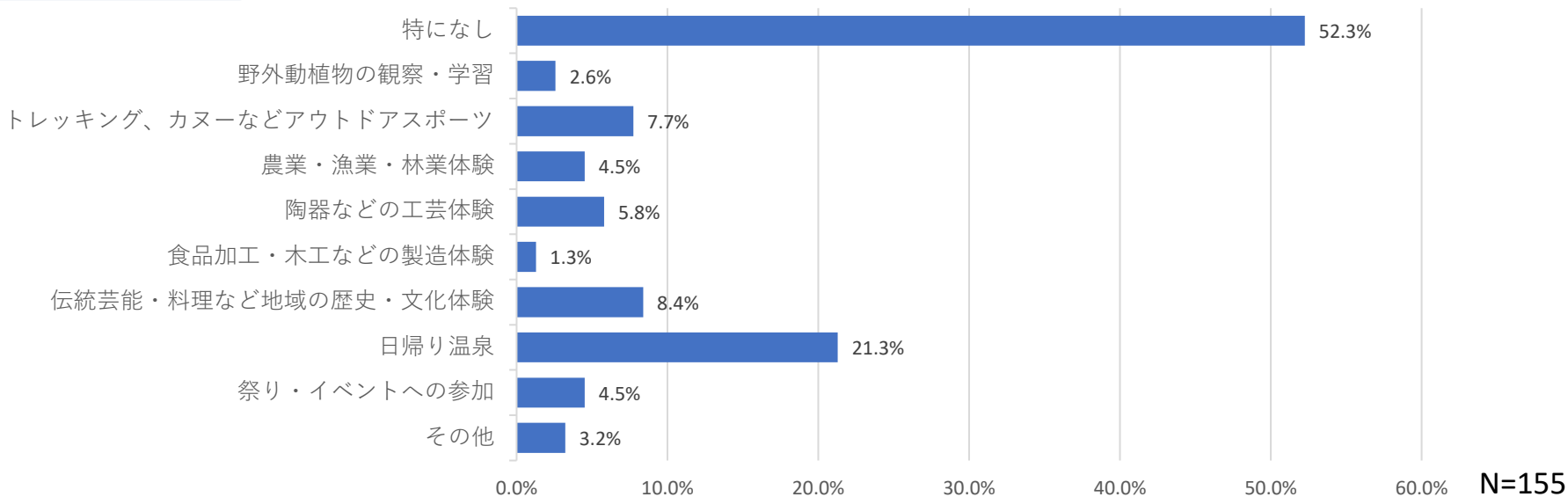
旅行目的・体験したコンテンツ



旅行目的



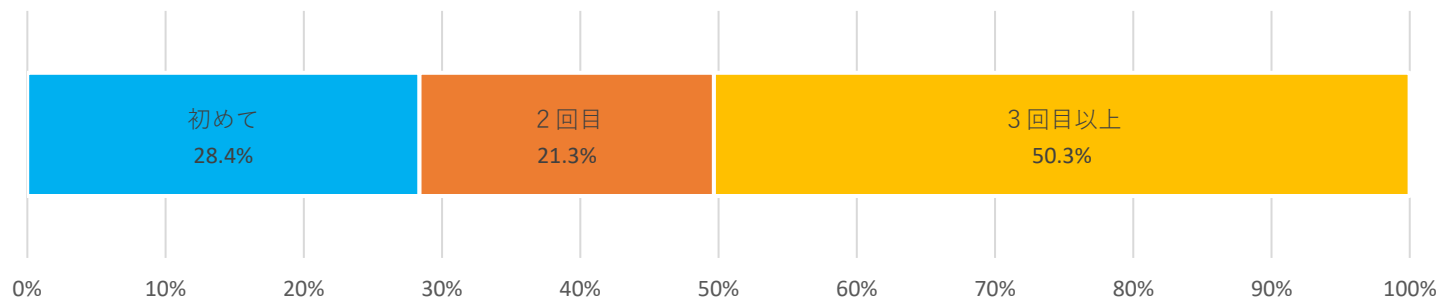
体験したコンテンツ



リピート率・消費額①

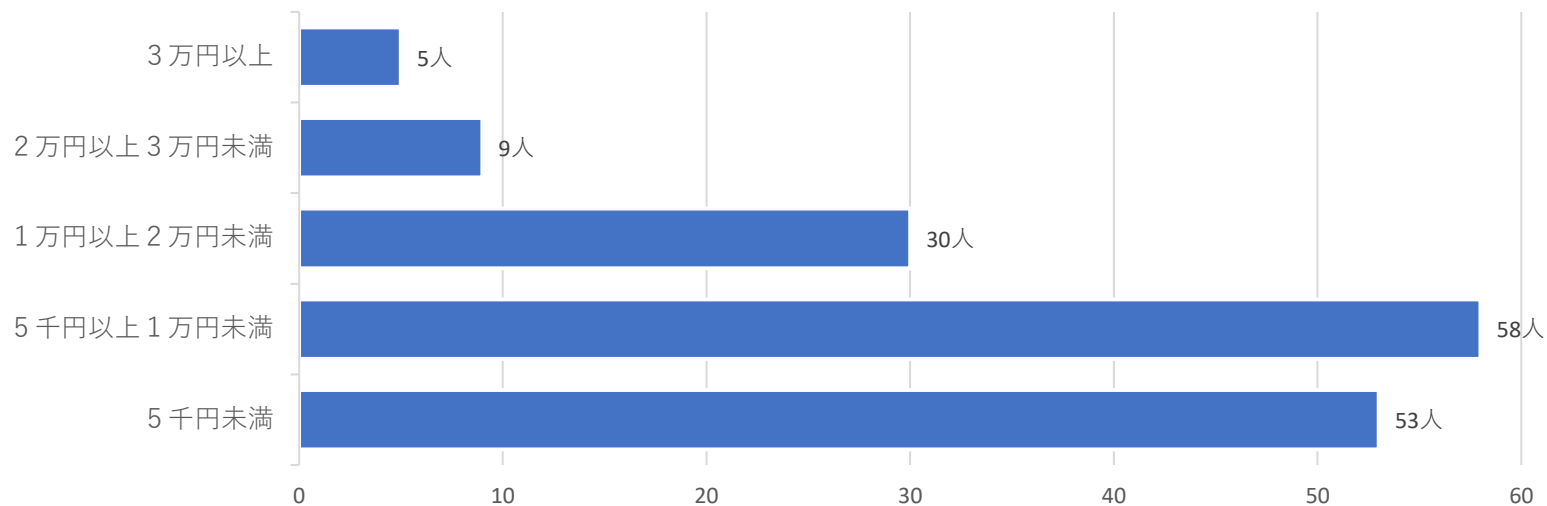


リピート率



N=155

地域内での消費額

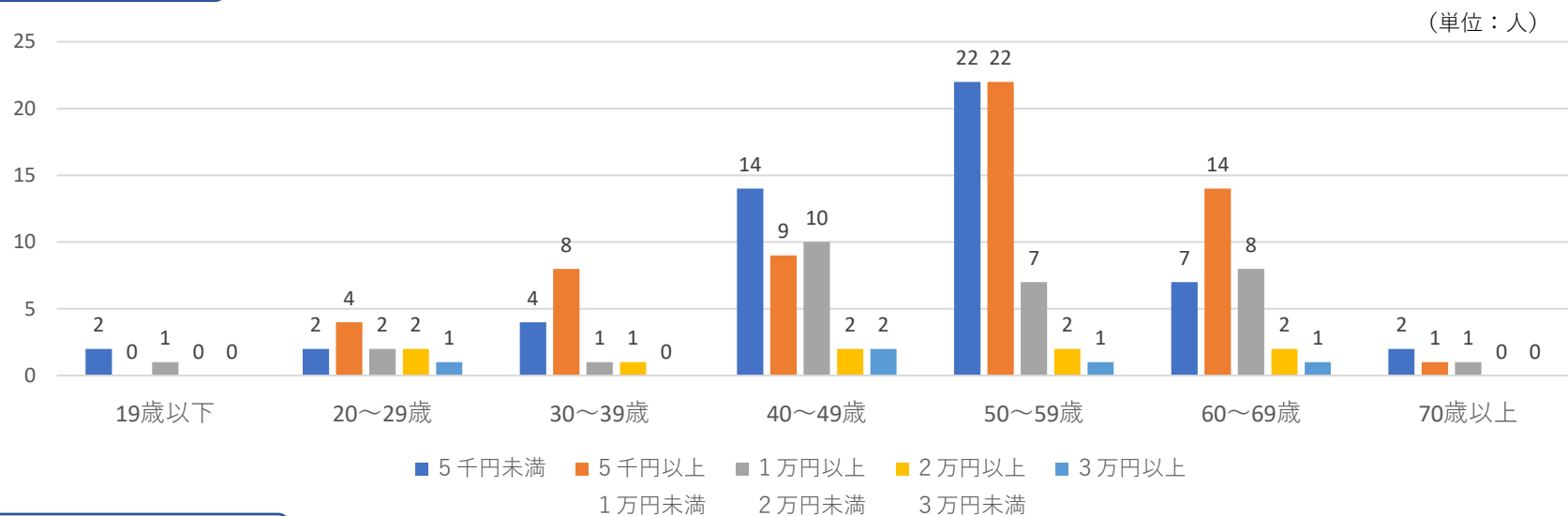


N=155

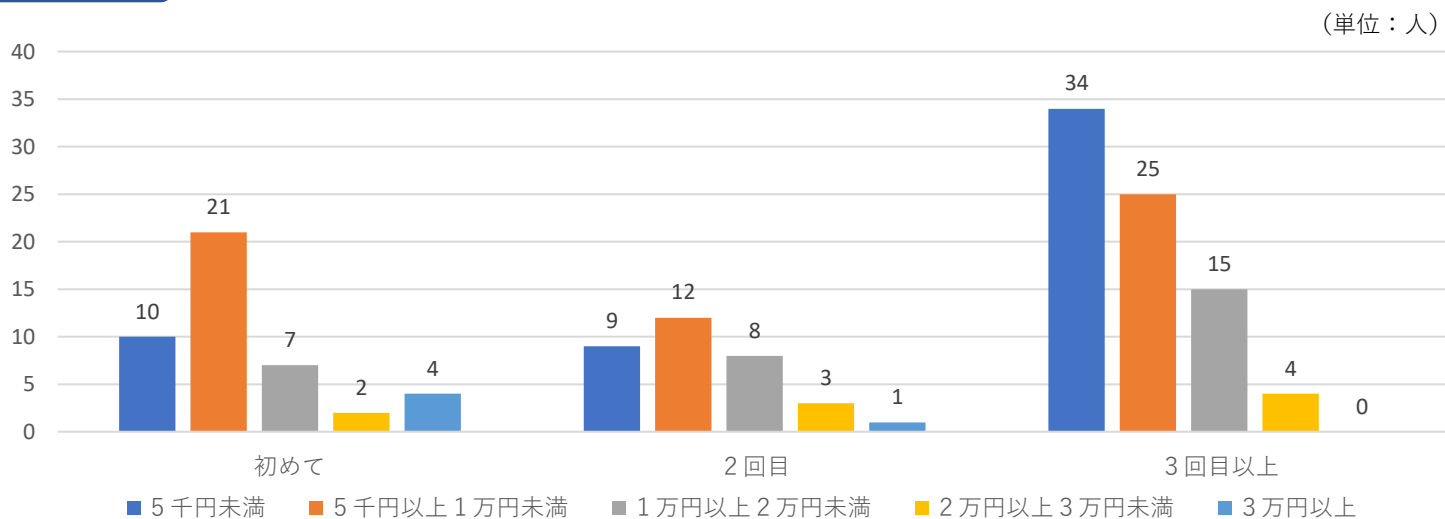
リピート率・消費額②



消費額×年代



消費額×リピート率



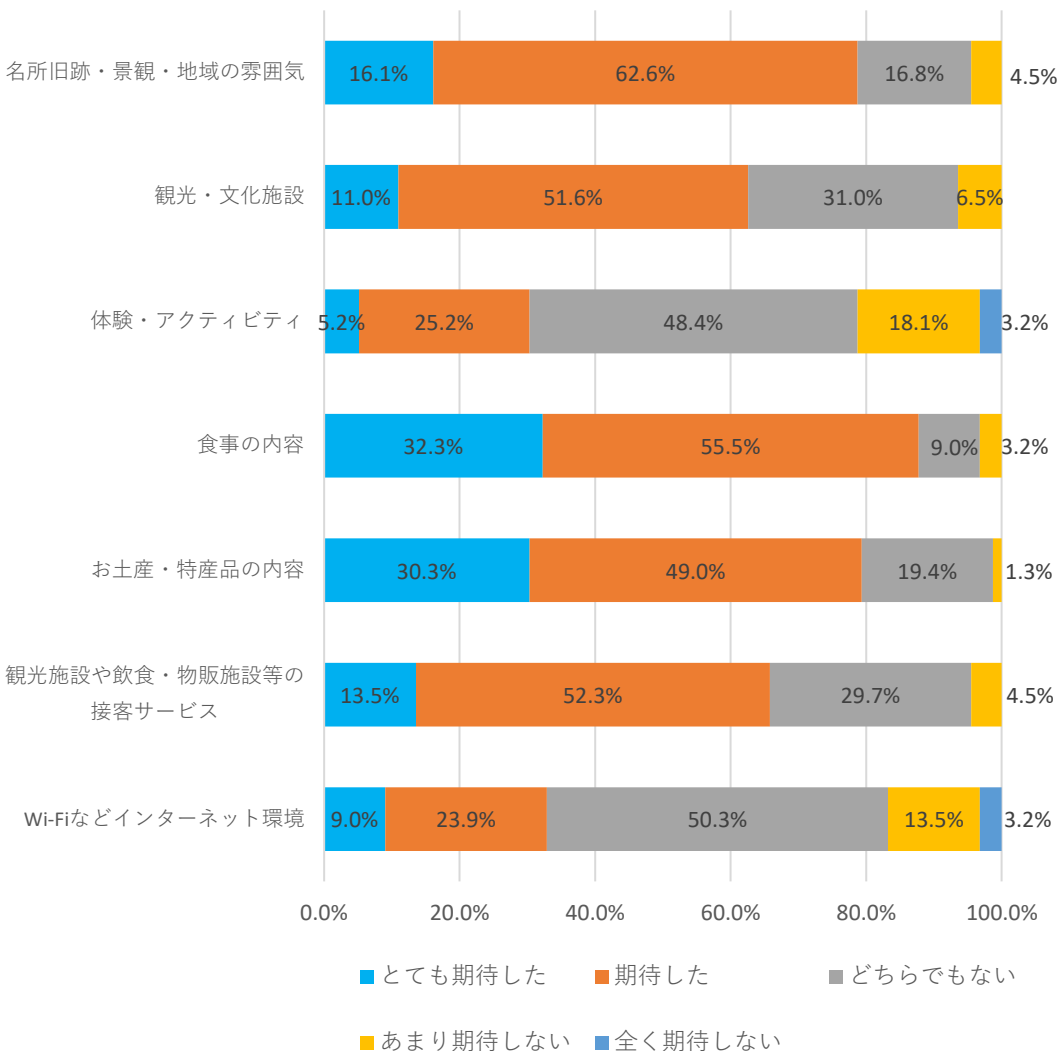
N=155

N=155

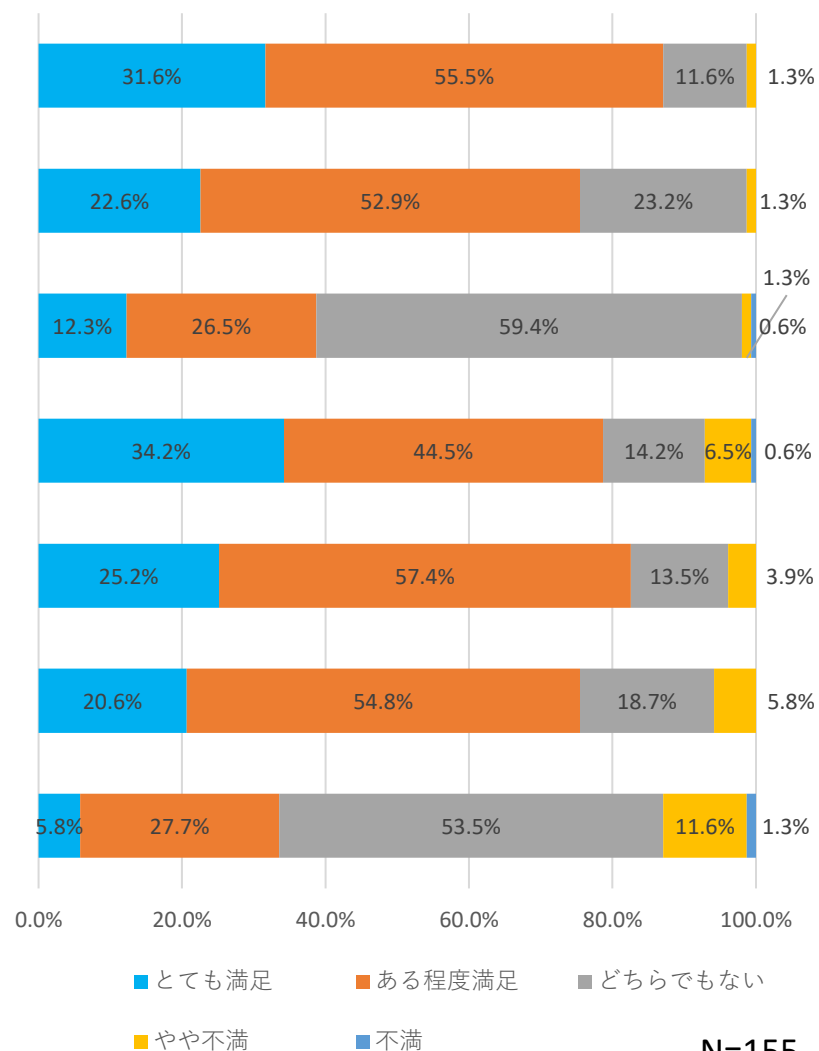
地域への期待度・地域の満足度



期待度



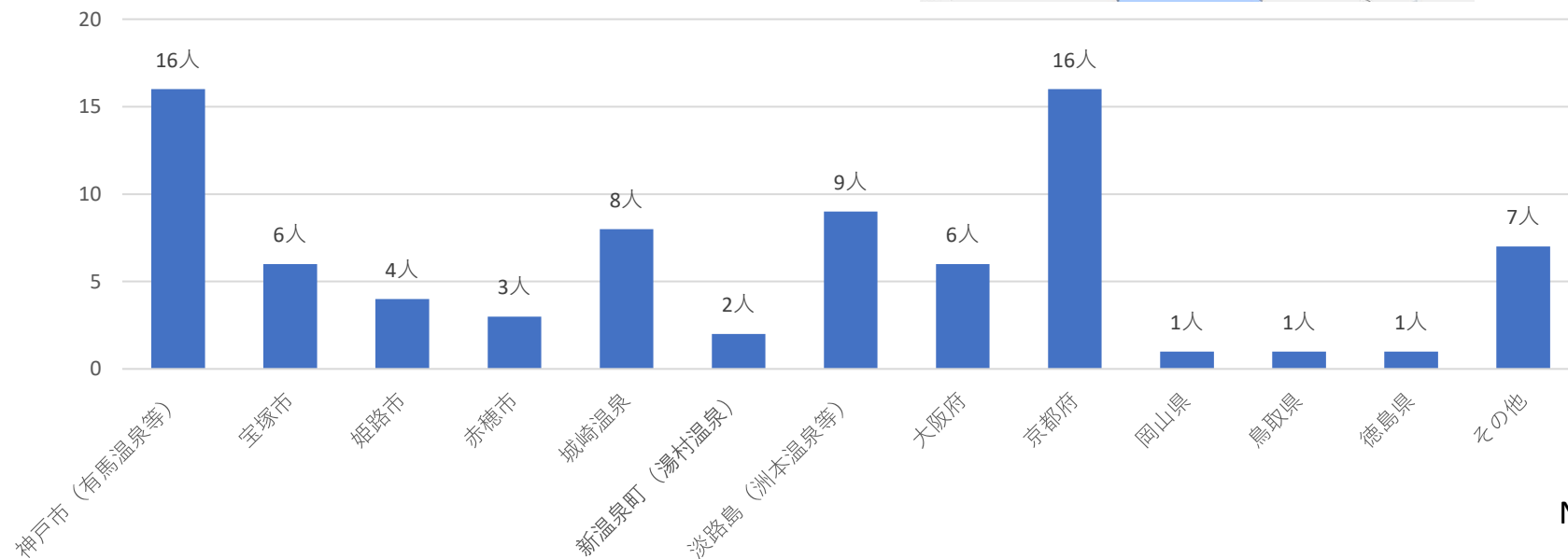
満足度



周遊の有無・周遊先

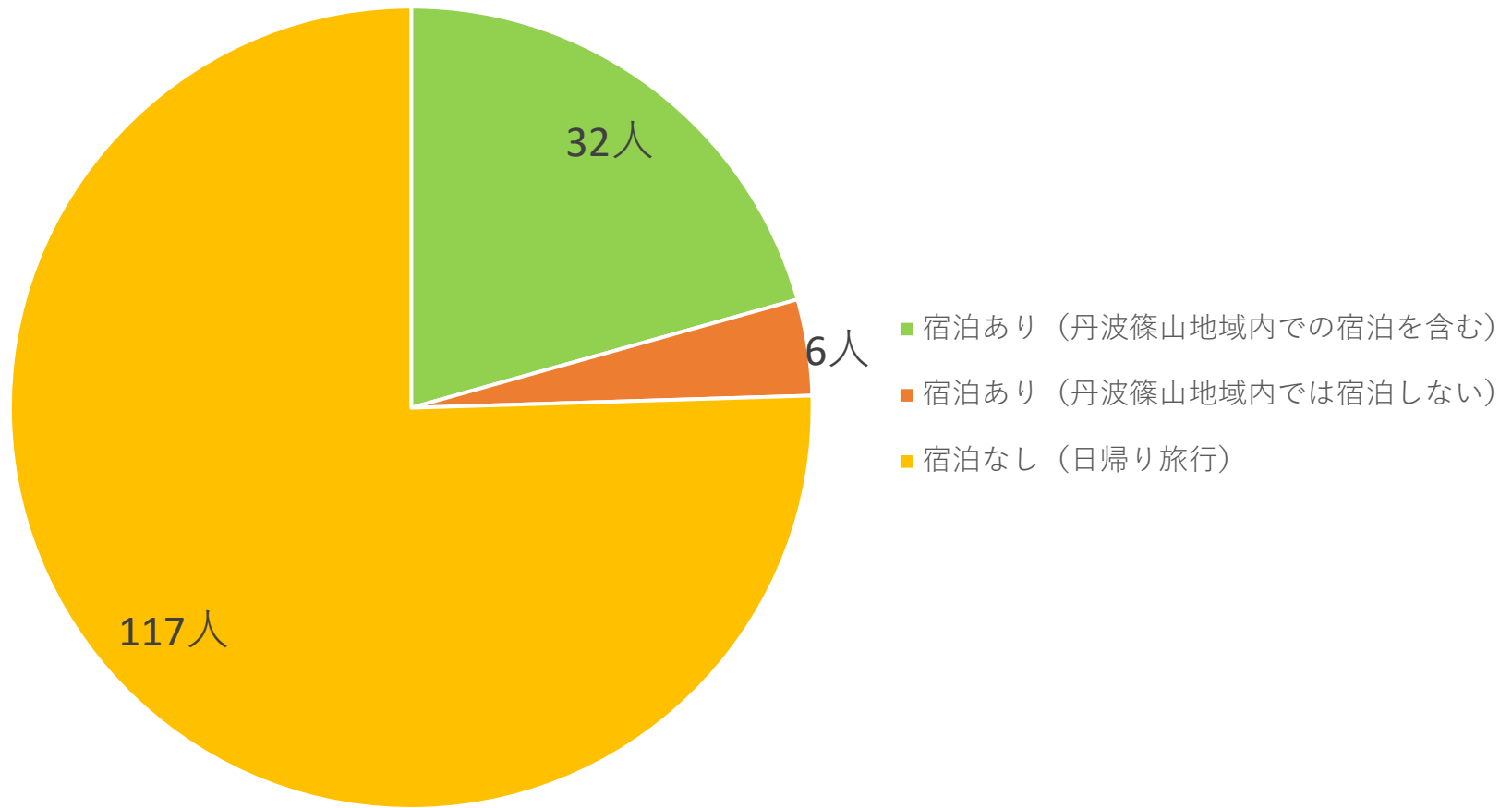
周遊の有無

N=155



N=80

宿泊の有無

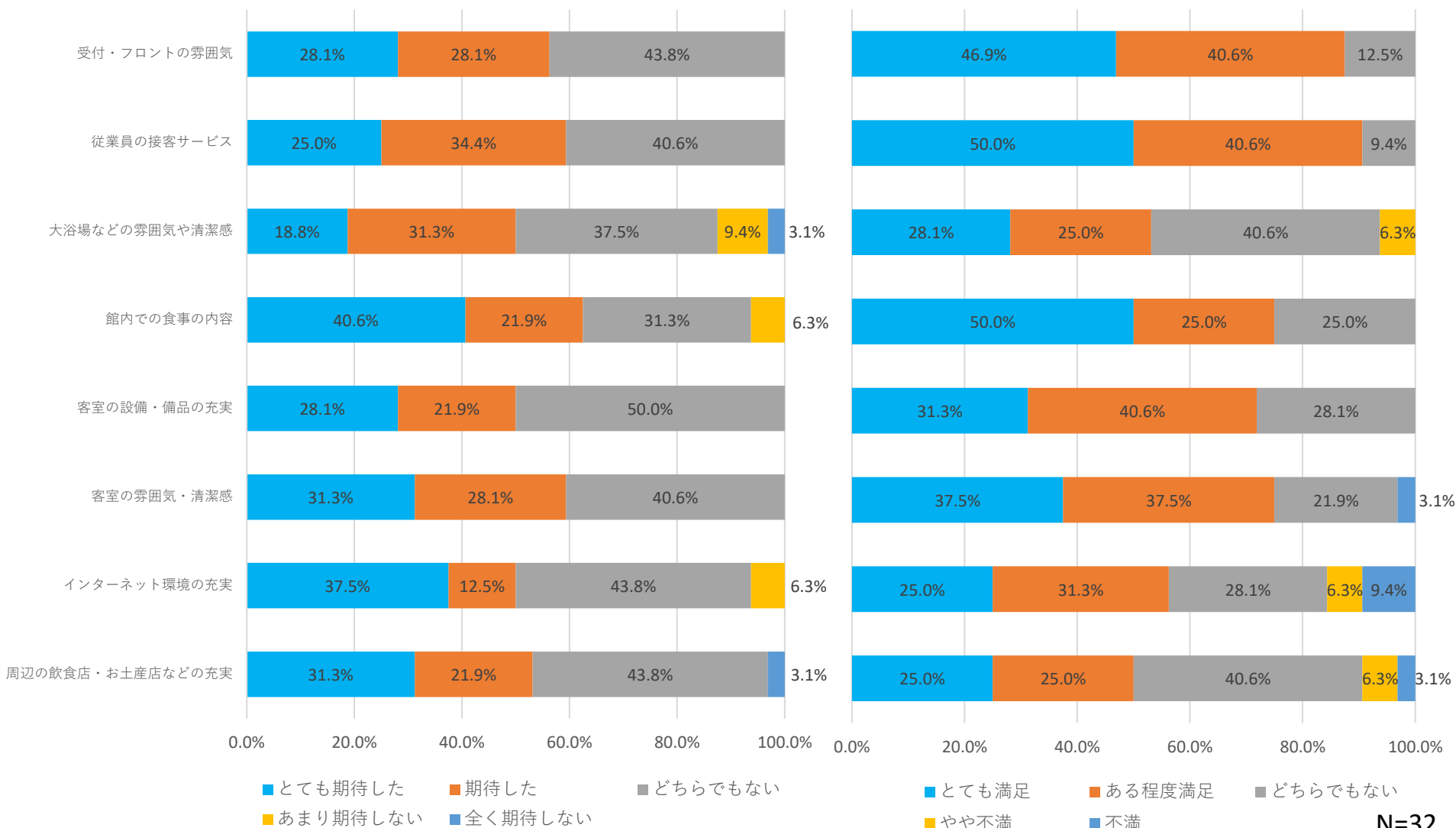


宿泊施設への期待度・宿泊施設の満足度



期待度

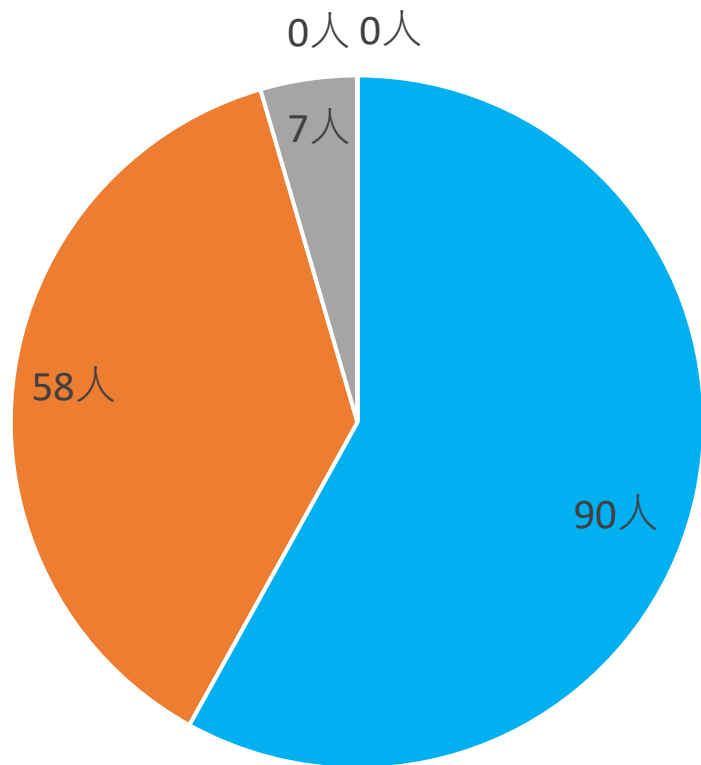
満足度



再訪意向



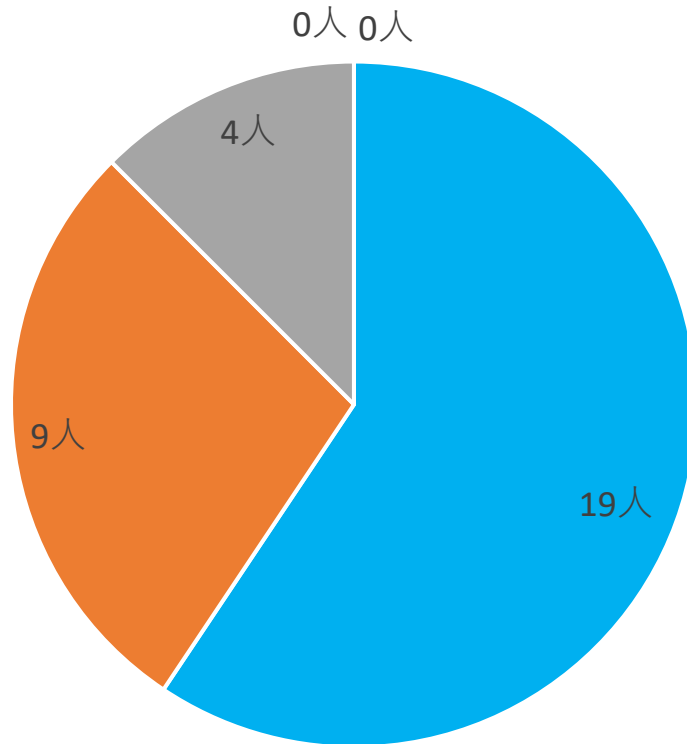
地域への再訪意向



- ぜひまた訪ねたい
- 機会があれば訪ねたい
- どちらでもない
- あまり訪ねようとは思わない
- 訪ねたくない

N=155

宿泊施設への再訪意向



- ぜひ利用したい
- 機会があれば利用したい
- どちらでもない
- あまり利用しようとは思わない
- 利用しない

N=32